

Vol.
37

臓器提供ご家族からの手紙

think transplant



ガンバッテイキマッショイ！

母親より

お手紙、心にしみました。何と感激のドラマでしょう。お手紙を受け取った日は、二男の命日の2日前、墓参りから帰った時でした。

中1という多感な「さあ羽ばたこう」という時からの長く苦しい日々が、移植によって魔法のように蘇ったと知ることができました。私は息子を「よくやった!」と褒めてやり、感激の涙にしばし浸りました。

お父様が書かれていた「娘は、幼いころから明るく素直で、常に笑顔の絶えない人気者」というのは、まさに息子がその男版と言えましょう。亡くなった息子は二男で、2才上の兄を慕っていました。クルクルした丸い大きな目で遊びの天才と言えるほどかけ回り、幼児期から始めた水泳は高校3年生まで選手として活躍していました。元気過ぎてけがも絶えない子でした。

友だちの多さでは誰にも負けないほどでしたが、亡くなってから知った友だちや仲間の多さは私の想像を越えておりました。

2度目の脳出血で医師から脳死とされうる状態と告げられ、「臓器提

供」という言葉を聞いた時、せめて体の部分でも生かしてもらえるのなら、と嘆願したのです。息子は臓器提供意思表示カードにも運転免許証にも意思の記入はしていませんでした。誰も脳死になるなんて思いもしませんから、でもきっと本人も提供したいと言ったはずです。生かしてやっていただいて、本当にうれしいです。有り難く思っております。

二男はいつも兄と同じことをやりたがっており、高校も大学も同じでした。そのため兄と共通の仲間が多く、今では兄が皆を集めて、二男の会を作ってくれたりしています。

昨年3回忌には共通の友だち10名ほどを2度集めて、私も一緒に飲み会とカラオケへ同行しました。二男の笑い話に花を咲かせ、皆で私を気づかってくれています。今回も7名が集まり、命日も明るいものとなりました。そこでいただいたお手紙を皆に読んでもらったところ、それぞれ深く感じ入ったようで、「オイ、オマエは英雄だ!しっかりやれ!」と乾杯となりました。

長男も二男も大学は東京で地元を離れていました。大学では一緒にラグビーのサークルに入り、中心メンバーとして活動していました。二男は大学院を出て自分で事務所を開いて経営コンサルタントをして

おりました。結婚はしておりませんでした。ですから、もう地元に戻ってきたような気がしております。

まだまだ若いあなた様は、元気でさえあればこの先良い人生をいくらでも築いていけます。苦しい時があったからこそ、一層生きる価値や喜びを大切にできると思います。

私も応援団の1人に加わらせていただきます。

息子達の高校では「ガンバッテイキマッショイ!」とかけ声をかけ合っています。ボート部のかけ声です。以前卒業生が小説を書き、文学賞を取って、映画までできました。息子の葬儀で送り出す時、兄と同級生が大声で「ガンバッテイキマッショイ!」と車を送り出しました。

どうか「……………」で元気に生きてください。

お父様お母様も、それまでのご苦労や苦しみを越えることができて何よりでした。私も親としてお気持ち分かり、ほっとしております。私は生きていた息子から、むしろ力強い、幸せをもらいました。

今ではいつも背中に息子の応援を聞いて、以前より仕事に、いくつもの活動に、精を出しております。

できればまた、お知らせなどいただけましたらうれしいです。

皆様、お元気にお過ごしください。

かしこ



ドナーファミリーへ送られた、移植者とそのご家族からの手紙は
think transplant Vol.36でお読みいただけます。

今回は臓器提供を決断されたご家族から肺の移植を受けたレシピエントと
そのご家族への手紙を紹介しました。

ドナーファミリーとレシピエントは直接会うことはできません。しかし、
手紙を通してお互いを思いやり、励ましあいながら絆を深めています。

私たちは移植を受ける、臓器を提供する、どちらの立場にもなる可能性が
あります。「もしも、自分だったら…」今、家族と話し合ってみませんか？

意思表示の方法

臓器提供の意思は、以下の5つで表示できます。



健康保険証



運転免許証



マイナンバー
カード



意思表示
カード



インターネット

インターネットで意思を登録すると、IDの入ったカードが発行され、いつでも情報の変更や削除ができます。

グリーンリボンサポーター募集中!

グリーンリボン世界的な移植医療のシンボル。私たちは、普及啓発の応援団を「グリーンリボンサポーター」と称し、Facebookページへの「いいね!」など気軽な応援を呼びかけています。

www.facebook.com/GreenRibbon.jp

寄付や賛助会へのお金もサポートの1つ。ご寄付をいただいた場合、特定公益増進法人への寄付金として、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは右記へお問い合わせください。



既にたくさんの方が臓器提供に関する意思を表示しています。
それは、自分が助ける側にも、助けられる側にもなり得るから。あなたも表示しませんか？

自分の意思を選択

Step 1

1~3いずれかの番号に○をしてください。
どの意思も等しく尊重されます。

1.2を選んだ方のみ 提供したくない臓器を選択

Step 2

提供したくない臓器があれば×をしてください。

脳死後に提供できる臓器

心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球

心臓が停止した死後に提供できる臓器

腎臓・膵臓・眼球

1.2を選んだ方のみ 特記事項を記入

Step 3

皮膚・心臓弁・血管・骨など
臓器以外も提供したい方はその旨を、
また親族への優先提供の意思を表示したい方は
ホームページなどで詳細をご確認のうえ、
「親族優先」と記入してください。

Step 4

氏名などを記入

記入した意思は家族へ伝え、もしもの時に第三者が確認
できるようにしてください。
提出や郵送の必要はありません。家族署名欄がある場合
は、家族から署名をもらおうと良いでしょう。

注意事項 保険医療機関等において診療を受けようとするときには、必ずこの証を
その窓口で渡してください。

住所 _____

備考 _____

※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。
記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。
(1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば×をつけてください。)
【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

氏名 _____

署名年月日 年 月 日

本人署名(自筆): _____ 家族署名(自筆): _____

臓器移植やご支援に関するお問い合わせ

(公社)日本臓器移植ネットワーク

0120-78-1069 <http://www.jotnw.or.jp>

臓器移植

検索





臓器移植に関するご質問・お問い合わせ先
公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
 0120-78-1069 (平日 9:00-17:30)